



大渚亭様
香川県高松市

Case 04



DATA

- 施設名／大渚亭 屋島本館
<http://www.ohnagisa.com/>
- 製品名／パレットクリームHG (P.27)
- 設計／長尾勝彦+デザインオフィス
nagaokatsuhiko@mb.pikara.ne.jp
- 施工／(株) 富田工務店

様の願いから、今回のリニューアルではバリアフリーかつ個室をパーテーションや襖で仕切ること、部屋の大きさを自在に変更できるように設計。どの部屋から庭が眺められ、ゆつくりとくつろげる空間を実現しています。

「この部屋もガラス窓を大きくとって、庭との一体感、広がり感が出るようにしました。6畳の部屋でも二面がガラス張りだと開放感があつて、広く感じられます。部屋の中から眺める庭の背景にある塀は、植栽とのマッチングやくつろぎ感を出す上で、とても大切なものでした。」と語る長尾氏は、「気持ちのいい自然な和風の庭になじむ点でもパレットクリームHGが気に入りました。また、夜の空間を演出す

外からも内からも 目線の高さにある塀が、 お店を印象づける決め手。

重要な位置づけの塀に、パレットクリームHGを選択。高松市にある日本料理店大渚亭屋島本館は、創業25年目を迎えた2012年6月にリニューアルオープン。塀にはパレットクリームHGが採用されました。「構えた感じではなく、落ち着いた印象にしたかった。」と施主である店長の洲崎様は話されます。一方、10年前から大渚亭の設計を担当する長尾勝彦氏は、今回は塀の選択が最も重要なポイントのひとつになると考えたそうです。その理由は、室内の壁に大きなガラスを取り入れることで広さを感じられる空間を演出したかったから。実現するには庭にある塀に室内の壁としての役目を担わせる必要がありました。



設計者の長尾氏

るために、塀の中に間接照明を入れ、植栽と足元を照らし出すようにもしました。さらに、ところどころ塀の足元を抜いて、外の動きが少し見えるようにしてより広さを感じられる工夫も施してあります。」

長尾氏が心掛けた、和の中にモダンなデザインを採り入れたデザインに、パレットクリームHGはぴったりとフィットしたようです。

おもてなしの心は アプローチから

大渚亭を外から見たとき、視線は黒い建物より明るい塀の辺りに留まります。重々しさはなく、ゆつたりと落ち着いた雰囲気を感じられます。塀の前には、姿の美しさからその名が付いた業平

この壁が空間の印象を決めてしまったためです。パレットクリームHGを採用した理由は、ブレインで柔らかい感じが良かったからです。外観としては、黒の建物に対して塀でやわらかいイメージを与え、横のラインを強調することで目線を留めたいと考えました。そこで、明るいグリーン系の塀と植栽を組み合わせ、自然感を印象付けるようにしました。また、この壁は部屋の中から眺める庭の背景としても、重要な役割を果たしています。」と長尾氏。設計のコンセプトは、気持ちのいい、軽い優越感を感じさせることだそうです。

また、大渚亭は道路沿いにあることから、汚れ防止の機能があることもパレットクリームHG採用の決め手となりました。塀には軒を造るなど、雨じまいの工夫もなされています。

くつろぎ空間を 演出する庭と塀

「高齢のお客様に配慮しつつ、少人数の会食からお祝い事、法事などの会合まで、多種多様なお客様のニーズに柔軟に対応できるようにしたい。」という洲崎

竹(ナリヒラダケ)とグリーン塀に導かれるような小道が付いています。この小道は駐車場に降りた人々を入り口へと誘導し、安心してお店に入っていたく導線としてもお役に立っているようです。



店長の洲崎様

イメージ通りの仕上がりに満足されている洲崎様は、「普段使いであっても非日常な空間として、行き届いたおもてなしを目指したいと思います。」と話され、その思いは、先ほどの小道(アプローチ)にも表れています。

おもてなしの心にあふれた大渚亭。その正面にあるパレットクリームHGの塀は、くつろぎを求めて集う人々の目に、期待感と優しい第一印象を与えてくれるに違いありません。